

A級蹴武型・男女混合試合(選抜7名)

福島良菜、史上3人目の3連覇挑戦!

A級蹴武型は推薦出場はない。

前年度、全日本大会優勝～3位入賞者および予選会での優勝者のみが参加を許される狭き門。

本種目の選抜者は7名。

全日本F T大会A級蹴武型2連覇の福島良菜(福岡筑紫野跆拳道クラブ)

西谷信一郎(東京大森跆拳道クラブ)

倉田剛志(千葉柏跆拳道クラブ)

前根奏子(横浜鶴見跆拳道クラブ)

山崎崇史(神戸六甲跆拳道クラブ)

武田龍倭(東京城南雑色跆拳道クラブ)

森 慎治(福岡筑紫野跆拳道クラブ)

蹴武の型は、日本跆拳道の魂。

本大会の表看板種目がA級男子無差別級だとすれば、裏看板種目はA級蹴武型である。

毎年、ハイレベルな戦いが演じられている。

注目は2連覇中の若きチャンピオン・福島良菜が、史上3人目の3連覇を達成できるか否かにある。

福島は、本種目選抜者がほぼ出そろった関西テコンドー選手権大会・A級蹴武型で優勝しており、安定した実力を堅持している。

ただし、福島の最大のライバルになるであろう前根奏子が関西大会には参加していない。

前根が激戦を制し決勝戦に進出すれば福島とは全日本大会初対決となる。

福島は16歳、前根は24歳。

J T A女子部選手をけん引する二人の若き女蹴士の熱い戦いに注目したい。



組手は、ベテランの選手がいて、
体格的にも不利なので不安もありますが、
相手が誰であっても練習通りに落ち着いて、
後悔しないような組手をできるように頑張ります。
今年は多くの試合を見て、
他の選手から学んだことも沢山あったので、
それを自分の組手や型に生かしたいです。



昨年より遠征を多くしメンタル面が向上が出来ました。
今年こそは優勝争いをしたいと思います。
それだけではなく、
友である千葉柏 TC の倉田選手から型は西谷さんに、
お任せしようと思ひましてと託されました
修行を積んだ内容が全てだせて型 A 級の頂上を狙っ
て行きます。



今年は2年ぶりに組手と型2種目出場させていただくこと
になりました。社会人になって練習の時間がうまくとれな
い事に加え、仕事との両立で体力が回復しきらない中で練
習を続けなければならないことでめげそうになることもあ
りましたが、応援してくれる方々、共に練習してくださる
方々のため、いい試合ができるよう頑張りたいです。



4年ぶりの出場となりました。
体力的な衰えを感じる中で、
4年前の自分にどれだけ近付けたか
後楽園ホールで確かめたいと思います。



1 試合でも多く試合が出来るように全力で頑張ります。